

令和6年度 自己評価・学校関係者評価書

第三静岡学園 静岡学園幼稚園

1. 教育目標

(1) 豊かな考え明るい子 (2) 誰にも親切やさしい子 (3) しんぼう強くがんばる子 (4) 丈夫な体の元気な子

重点目標・・・『自分で何でもやる子』

2. 園が取り組む目標

『主体的・対話的で深い学びの追求』

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	自己評価	理由	関係者評価
① 保育の計画性	A	・子どもの興味関心のあることを活動に繋げられるよう月案、週案を考えるようにしてきた。園庭に季節のコーナー遊びを設定したことで、季節を感じ異年齢のかかわりを楽しむことができた。 ・1年を通してテーマを立てたことで、行事にも取り組みやすかった。	A
②保育の在り方、 幼児への対応	A	・幼児理解を深めるために、ひとり一人と向き合い、登園時には必ず挨拶をし体調の変化に気付くよう心掛けた。また、支援を必要とする子に対しては外部の先生にアドバイスをもらうことで職員、保護者との共通理解ができてよかった。 ・ヒヤリハット報告から子どもの安全を考え、対策を行ったり同じことが起きないように注意してきた。報告や記録が大切だと感じた。	A
③教師としての 資質・能力・適正	A	・職員同士の報連相を徹底し、円滑に保育業務ができるよう心かけてきた。 ・子どものお手本となるように立ち振る舞いや言葉使いを気を付けることができた。保護者対応は相手の立場に立って話すよう心掛けた。	A
④保護者への対応	A	・普段の様子を細かく伝えられるようシール帳やおたよりなどを意識して行ってきた。保護者からは「園での様子がよくわかり、毎月楽しみにしている」と言われると大変だがやって良かったと思う。 ・保護者からの意見は自分だけの問題とせず、必ず報告し、全体の問題として解決に取り組むことができた。	A
⑤地域の自然や 社会との関わり	B	・年長の担任は公開保育で小学校との接続ができたが、他の職員は幼小連携とまではできなかったのが今後の課題として取り組んでいきたい。 ・総合運動場が近いため地域の特性を生かし、お散歩に出かけるなど地域とのかかわりが深い。	B
⑥研修と研究	A	・興味、関心がある研修会に参加することができ自分自身学びの多い1年となった。 ・園内研ではこども会議について話し合い、自分自身勉強になった。今年は子ども達の話し合いから行事をすすめたことで、子ども主体の保育ができた。 ・消防の職員から救命救急を学びAEDの使い方も学ぶことができた。	A
⑦地域における 子育て支援	B	・未就園児会アリスでは毎週たくさんの人が来てくれるようになった。満3歳児と一緒に交流することで保育自体を知ってもらうきっかけとなった。 ・遊びの会にアンパンマンを登場させることで、参加者の増加傾向が見られた。 ・未就園児会が保育中に行われるため、担当者以外はかかわりが持てず評価が低い。	B
⑧外部アンケート	A	・家庭ではできない行事や体験が多く、友だちと経験できることを嬉しく思う。その様子をお便りやブログで発信してくれるので園での様子がよくわかり助かる。 ・クラスの先生ではないのに声をかけてくれ、子どもをよく見てくれていると思う。子どもに向かう姿も丁寧でありがたい。 ・要望等すぐに対応してくれ感謝している。	A

(評価段階) A：よくできている、B：概ねできている、C：あまりできていない、D：できていない

4. 本年度、重点的に取り組む目標の総合評価

『主体的・対話的で深い学びの追求』

- ・今年は『こども会議』を取り入れ、子ども達と集団で対話を行う活動を中心に行ってきた。行事の時には子ども達の話し合いの中から出た案を取り入れて行うことで充実かつ主体的活動となった。時にはクラスでの問題点を話し合うことで、子ども同士納得し次への活動へ繋げることができた。
- ・のびのびと遊べる環境下で、今年は園庭に季節のコーナーを作り、子どもの興味・関心・意欲を見守り、探求心を育てると共に、イメージ豊かに遊びが繰り広げられるような援助及び環境構成を行うことができた。
- ・保育の質の向上に組織的に取り組み、振り返りにより保育内容の改善や役割分担の見直しを行い、職務に応じた知識及び技能を身につけることができた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・子どもの育ちを意識した保育の工夫 ・研修内容の重点化	・子ども一人一人の個人記録を充実させることでより深い子ども理解をしていく。 ・子どもが主体的な遊びを展開し進化拡充できるようにするために環境構成の工夫に重点を置き研修を行う。更に「主体性」の具体的な姿を共通理解できるようにしていきたい。
・幼小接続、かかわりの具体化	・積極的に小学校に働きかけ、近隣の小学校との接続を連携していく。

6. 関係者評価委員からのコメント

- ・家庭ではできない体験や行事が多く、友だちとやるからこそ力を合わせてやり遂げた達成感が感じられてとても良いと思う。
- ・行事や園の様子をおたよりやシール帳でわかりやすく伝えてくれるのでありがたい。
- ・先生方の子どもに向かう姿勢が丁寧で感謝している。この園に入れて良かった。
- ・ひとり一人の個性を尊重しつつ、必要なルールを丁寧に教えてくれている。
- ・行事など子ども達で話し合ってた決めた聞いた。たくさんの意見のある中でそれをまとめる先生は大変だったと思うが、子ども達の声に耳を傾け、導いてくれたおかげで子ども達の顔は達成感でいっぱいだったように感じる。
- ・担任の先生以外の先生たちが、学年を越えて子ども達の名前を覚え、一緒に遊ぶ姿を見ると安心できる。
- ・どの先生も保護者や子どもの名前を覚えてくれていて、園での様子を伝えてくれるので嬉しい。
- ・先生方は子ども達と寄り添って日々忙しく、色々なことを考えて動いてくれている。それがどれだけ子ども達の今、そして未来にとって大きな宝となるのかを考えると、親や家庭だけではなし得ないことだと思う。この恵みと幸せを当たり前と思わず、大切に過ごしていきたいと思った。
- ・役員でお手伝いできたので、我が子だけでなく子ども達の楽しそうな顔を見ることができたことが何よりも幸せで、自分自身の財産となった。
- ・行事前の打ち合わせがあったからこそ、先生方の思いや行事へのねらい、子どもにさせたい経験がわかり、気づくことができて良かった。
- ・保護者の人数が多岐にわたる意見、要望があり大変だと思うが、まず第一に子ども、第二に先生であってくれたら嬉しい。
- ・保護者からの指摘、要望に迅速に対応していただき感謝している。
- ・行事などのボランティアで参加する際に、子ども達のために支えるという気持ちよりも自分のメリットを優先する方が多いことを悲しく感じた。

